

マーケットの動き（2024年12月23日～12月30日）

国内債券市場は、12月20日比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。あらかじめ金額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額の総額が増額されるとの報道がされると、債券需給が緩むとの見方から債券は売られ国内長期金利は上昇しました。その後も、国内株式市場が上昇したことや年末年始を控えた持ち高調整の売りが入り、金利は上昇しました。クレジット市場は、年内の起債が終了し流通市場での買いも断続的に見られたこともあり、需給は改善傾向が続きました。

投資環境見通し（2024年12月）

国内長期金利はさらなる上昇余地

日銀総裁が、経済データが利上げに向けて想定通りに推移しているとの認識を示し、加えて一段の円安に対するリスクを指摘していることから、日銀による早期の利上げ観測が広がっています。国内長期金利は、来年1月までに追加利上げが行われるとの投資家の見方を背景に、さらなる上昇余地があるとみています。

	12月30日	変動幅（騰落率）			
		12月20日比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.10	0.05	0.04	0.03	0.48
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	357.61	▲0.25%	▲0.11%	0.03%	▲2.92%

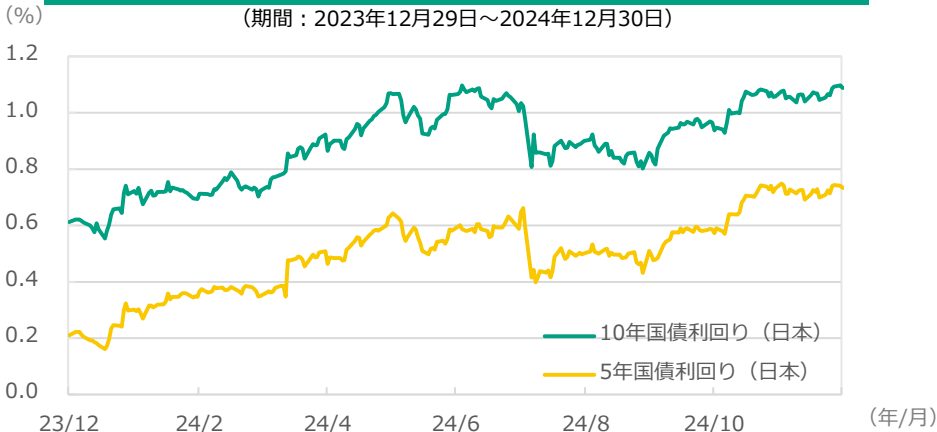
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf

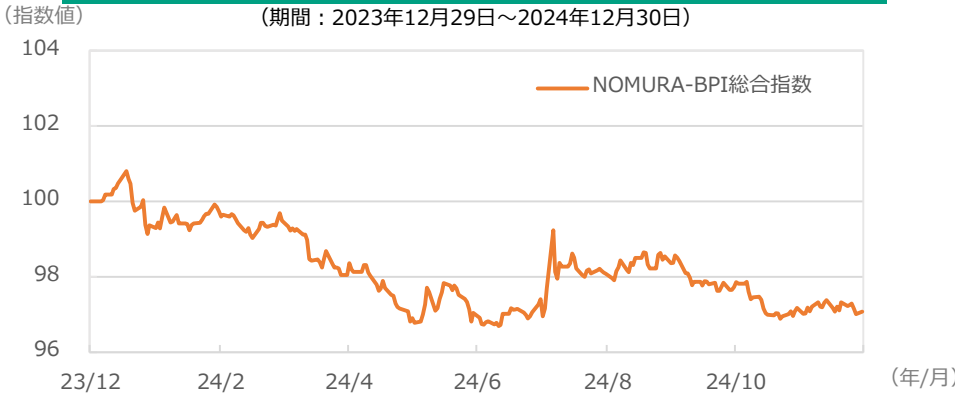
日本国債利回りの推移

（期間：2023年12月29日～2024年12月30日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年12月29日～2024年12月30日）



※2023年12月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>